

授業科目名 (英文名)	人的資源マネジメント (経営学部・ 専門科目) (Human Resource Mana gement)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	加納 郁也	所属	経営学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>企業という組織の中で働き、報酬を得て生活することは、誰もが経験することである。本講義では、企業の中で仕事生活を送るうえで、いったい自分がどのような仕組みのもとで働き、報酬を得ることになるのかについて、受講者に考える材料を提供し、理解を深めてもらうことを目的とする。また、本講義の到達目標は、人的資源マネジメントに関する基礎的知識を習得してもらうことであるが、最低ラインとして、受講者たちの就職活動の際に、人事担当者が話す専門用語の意味を解説なしに理解できる程度の知識を身に着けることとする。</p>		
講義内容・授業計画	<p>本講義では、人的資源マネジメントを構成するさまざまな制度・仕組みと考え方について、以下で示す順に講述する。ただし、受講者の理解度をみながら進めるため、内容を一部追加・削除する場合があることを予め承しておいてもらいたい。</p> <p>< 講義計画 ></p> <p>第1講 ガイダンスとイントロダクション 第2講 人的資源マネジメントとは何か(1) 経営学説で辿るHRMの展開 第3講 人的資源マネジメントとは何か(2) 日本的経営論の展開 第4講 日本企業の採用活動(1) 日本企業の採用方法 第5講 日本企業の採用活動(2) 日本企業の採用基準 第6講 日本の学生の就職活動(1) 大学生の就職活動 第7講 日本の学生の就職活動(2) 企業と学生のマッチング 第8講 評価制度(1) 評価要素と評価プロセス 第9講 評価制度(2) 評価のエラー 第10講 評価制度(3) 公平な評価制度 第11講 評価制度(4) 経営戦略・目標管理と評価制度 第12講 報酬制度(1) 報酬管理の構造 第13講 報酬制度(2) 賃金体系と賃金形態 第14講 報酬制度(3) 基本給の種類 第15講 報酬制度(4) 評価と報酬の結びつき 第16講 昇進と昇格(1) 従業員の格付け制度 第17講 昇進と昇格(2) 企業内昇進管理の方法 第18講 昇進と昇格(3) 昇進管理の課題 第19講 配置と異動(1) 評価・配置と個人のキャリア 第20講 配置と異動(2) 評価と配置・異動との結びつき 第21講 能力開発・人材育成(1) 能力開発・人材育成に関する諸概念 第22講 能力開発・人材育成(2) 人材育成の体系(OJTとOff-JT) 第23講 能力開発・人材育成(3) コーチングとメンタリング 第24講 能力開発・人材育成(4) 日本企業の人材育成を巡る変化とその課題 第25講 ワークライフバランス(1) 多様な働き方に関する諸概念 第26講 ワークライフバランス(2) 日本企業のワークライフバランスを巡る変化とその課題 第27講 ワークライフバランス(3) 海外におけるワークライフバランスの動向 第28講 福利厚生・フリンジベネフィット 第29講 解雇・退職 第30講 組織ストレスとメンタルヘルス 定期試験</p>		
テキスト	使用しない。		
参考文献	必要に応じて、講義時間中に適宜指示する。		
成績評価の基準・方法	成績評価の基準		

	<p>原則として、定期試験（100％）によって評価する。ただし、講義時間内に実施するレポート課題やノート提出なども平常点として考慮する予定である。成績の評価方法や講義の進め方の詳細については第1講のガイダンスで説明するので、受講希望者は必ず出席すること。</p> <p>成績評価の方法 講義目的および到達目標に記載する知識レベル・思考能力・実践への応用能力の到達度に応じて、SからCまでの範囲で成績をつける。</p>
履修上の注意・履修要件	<p>組織行動論を履修済みあるいは履修中であることが望ましい。また、受講に際しては、それ以前の講義で説明した重要な概念（専門用語）について、十分に復習しておくこと。</p>
実践的教育	<p>該当しない</p>
備考	<p>担当教員の研究領域は人的資源管理および組織行動論である。本講義は、担当教員の専門分野である人的資源管理の基礎理論や関連領域について、学部専門レベルの内容の学習を目的として開講するものである。</p>